

ものづくり 環境対策 最前線を視察

建設トップランナー倶楽部

農業・林業・福祉など
の新事業や新たな技術開
発に挑戦する建設経営者
の集まりである建設トッ
知真豊田市現地研修会が

20～21日の2日間にわた
って開かれた「写真。30
社、47人のメンバーが参
加し、ものづくりや環境



対策の最前線を視察し
た。

1日目はトヨタ自動車
本社敷地内にあるトヨタ
会館を訪問。八木肇トヨ
タ自動車環境部マネジ
メントグループ長から、
トヨタの「ものづくり」
の考え方をはじめ、環境
・安全など、21世紀を見
据えた最新技術について
説明を受けた。

さらに、環境モデル都

市に指定されている豊田
市の中核施設となるトヨ
タエコフルタウンを視
察。次世代の低炭素社会
の実現を目指し、環境技
術を集約した水素ステ
ーション、スマートハウス、
スマートモビリティパー
クなどを見学した。

2日目は、同倶楽部幹
事の鈴鍵（豊田市）が運
営する下山パークパーク
のウッドチップリサイク
ルシステム

や、愛知県
企業庁が進
めているト
ヨタ自動車
下山テスト
コースの造
成工事、み
よし市の中
部トラック
総合研修セ
ンターなど
を視察し
た。